



「おはよう！」「さようなら！」
毎日子どもたちの素敵な挨拶が聞こえます。いえ、正直に言えばやっとな聞こえるようになってきました。令和6年度が始まって9月で6ヶ月目に入ります。年度初めからしばらくの間は子どもたちの挨拶があまり聞こえない状況がありました。登園した子、降園していく子はクラスに向かって元気に挨拶をします。それに対してクラスにいる子は遊びに夢中で挨拶を返すことができないでいました。クラスや事務室には大きな声で挨拶するけれど、廊下ですれ違ったときには個人的な挨拶ができない子もいます。

人と人とのコミュニケーションの最初の一步が挨拶である。親しき仲にも礼儀あり。そんな小難しい話をしたい訳ではありません。その日に会った子同士が「おはよう！」「おはよー」と当たり前のように声を掛け合う関係って素敵じゃないですか。そこに意味をつけるのは後からいくらでもできます。

まずは挨拶をするという行動を作ります。できていないことをできるようにするには、まずは気付きを持たせることから始めます。保育者が率先して挨拶をする、「○○ちゃんおはようっていつてるよ」とあえて声を掛けるなど、仕掛けていったことがようやく今花開きはじめて自然な挨拶が聞こえるようになってきました。当たり前にするにはもう少し時間と大人の働き掛けが必要な気がしています。

我々大人同士が子どもたちに恥ずかしくないような姿を見せながら、園とご家庭で協力して共育(て)していきましょうね。

促さないと挨拶しないことに嘆いている

園長 梶原 秀一

今月の予定

防災の日になんだ給食の日

9/2 (月)

1923年の関東大震災をきっかけに、9月1日が防災の日が制定されました。この日の給食では有事を想定した食事をいただきます。



おべんとうデー

9/18 (水)

毎回子どもたちが楽しみにしているお弁当の日です！まだ気温が高いことが予想されますので、保冷剤を入れてくださいね。こんにやくゼリーなどの窒息の恐れのあるものや、ヨーグルトや牛乳寒天などの痛みやすい乳製品は入れないようにご配慮ください。



ぞうグループお泊まり保育

9/6 (金) ~ 7 (土)

ぞうグループにとって大きなイベントの一つでもあるお泊まり保育がいよいよ近づいてきました！詳細は手紙をよく読んでご用意をお願いいたします。0~4歳児の学年は通常通りの登園をお願いします。



カレーライスの日

9/20 (金)

今月もみんなで力を合わせて美味しいカレー・サラダ・フルーチェを作りますよ。3,4,5歳児のご家庭はエプロン・三角巾のご用意をお忘れなく！前日は2歳児のみみんなで野菜洗いをしてくれていますよ！



交通安全教室

9/25 (水)

毎月様々なテーマで教化員の皆さんに教えて頂いています。共通することは『命を守ること』。今月のテーマは「飛び出しをしない」です。



誕生会

9/26 (木) 10:00~

9月生まれのお友だちの誕生会です！友だちの誕生会を自分のことのように喜んでお祝いする子が増えています。心の育ちのためにも、家庭都合のお休みのないようにご配慮ください。

☆お知らせ・★お願い

★延長・早朝保育、土曜日保育について

- 各申請書は利用希望月の前月20日までの提出をお願いします。
延長・早朝保育、土曜日保育をご利用の方は保護者の方が勤務で家庭保育ができない場合のみ限らせていただきます。
兄弟の運動会や習い事の発表会などによる土曜日保育のお預かりはいたしませんので、予めご了承ください。
土曜日保育をご利用の場合は、勤務終了後はすぐにお迎えをお願いいたします。
勤務以外の都合で利用希望の方はご相談ください。

★キッズビュー入力をお願いします

体温やお迎えの方、降園時間など保育園でお子さんを安全にお預かりする上で必要な情報が詰まっています。つい忘れることもあるかと思いますが、繰り返しのないようお願いいたします。

☆わくわくフェスティバル

(運動会) について

10月19日(土) 9:00~12:00予定
牛久運動公園 武道館にて
詳細は後日手紙を配布いたします。

☆筑波山登山遠足について

年長児は10月4日(金)筑波山登山の遠足に向かいます。こちら詳細は後日手紙にてお伝えいたします。

☆令和7年度新入学児童健康診断

年長児は10月から順次就学先の小学校にて健康診断があります。各ご家庭に市から連絡が届くと思いますので、各自ご確認ください。

行進と散歩(管理と自由)そして体験
格差社会は、教育格差に繋がりが、体験格差に？そんなことはない。子どもに自由と遊びを保障すれば、どこかの避暑地に行くことより、ずっと豊かで十分な体験ができる。公園も、図書館も、シヨップピングセンターも、プールも、なんだったか。お泊り保育の予定の中に、自然博物館の見学と、野外活動が入っていた。自然博物館の名のとおり、野外の自然も充実している。混雑を予想して開館前に到着、一番乗り。お陰で館内は空いていて、子ども達の興味・関心に合わせて自由に見て回ることができた。案の定、昼近くになると、県外からも沢山の園が来て大混雑。早く来た分、早くお腹が空いて、混雑を避け、早目の昼食。木陰の野外テーブルをゲット。昼食が終わる頃に、近くの集合写真撮影場所に、他のグループが1列になつて、ぞろぞろやって来た。行儀よく、2人ずつ手を繋ぎ、整然と行進。写真を撮る前に、懐かしい、いやな光景を見た。1列に整列させるために、手を離された。そして、前に立った先生がピッピッと笛を鳴らすと、子ども達が条件反射のごとく、トントントン前、トントントン前とやりました。幼児期ならずとも、人間は自分で考え、自分で判断したことを、自分で行って、自分のやるべきことを分けることが大切である。これは、自由でなければできない。人に命令されたり、号令を掛けなければできないことではない。命令・号令はいらぬのだ。広々とした野外の自然の中、しかも一本道、手を繋いで、自由に行動できないようにし

て歩かせることは行進である。車の往来がある公道ではない自然の中。前と後ろを抑え、間は自由に、自然に触れ、虫を捕ったり、花を見つかったり、岩山に登ったり、子ども達のペースに合わせて歩くことで、沢山の体験ができる。写真を撮るために、一列にならなければならぬ時でも「みんな一緒に写真を撮るから、一列になろう」と伝えるだけで、自分達で考え、行動して、カメラに向かって並ぶことはできる。笛の合図で、何も考えず無意識にトントントン前を繰返すことは、考えない人間を作ちていっばいだったので、素敵な花壇の前で撮った。そして、野外の一番奥には、沢に模した高低差のある長い水遊び場がある。そこまで行く間には、アスレチックや岩の迷路などがあり、遊びながら行くと、水場には、やはりこのグループも来ていない、貸し切り状態。汗をかいた身体に、森林の中の広い沢辺は涼しく、沢をみんなどでセキ止めたり、噴水に乗ったり、十分に水遊びを楽しんだ。
今、話題の体験重視の教育、環境による教育は、ずっと昔から「ふたば」がやってきたことだ。子ども達には、自由に沢山の経験をしてみたい。「子ども達の最良の教師は、自らの手である」という。自分の頭で考え、色々な試行錯誤をして、自分で判断し、決定し、自分でやってみて、その結果により、更により良い方向に、失敗したらもう一度考えてやってみることに、多くの事を学ぶ。

理事長

浅田 精利